第四期特定健康診查等実施計画

共栄火災健康保険組合

最終更新日:令和6年06月25日

特定健康診査等実施計画 (令和6年度~令和11年度)

背景・現	背景・現状・基本的な考え方 【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】							
No.1	被保険者の2021年度健診受診率は65歳以上を除き95%を上回る。 しかし、被扶養者の検診受診率は40代前半および60歳以上において 60%を下回る	>	健診受診率向上のため、未受診者へ健診受診を促す。					
No.2	特定保健指導の対象者数は減少傾向にあるものの、2022年度においては31名のリバウンドが存在する	>	生活習慣病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善のために特定保健指導を実施する					
No.3	2022年3月の後発医薬品数量割合は82.3%で、他健保とほぼ同等水 準で推移している	>	後発医薬品に切り替え余地がある対象者へ切り替えを促す					
No.4	G3a以上のリスク者136人のうち、92人は未受診である	>	未通院者に対して、早期に治療を受けてもらうよう受診勧奨を実施する					
No.5	がん種別では乳がんの医療費が最も高いが、肺、女性生殖器、前立 腺が大きく上昇した。	>	がん検診により早期発見、早期再検査受診を促す。					
No.6	「改善意欲無し」の該当者割合は、男性19.8%、女性15.4%。	>	健康への関心、維持管理の必要性を認識してもらう為に、本人にとってわかりやすい情 報発信により、ヘルスリテラシー向上を促進する					
No.7	「運動習慣無し」の該当者割合は、男性78.1%、女性83.4%	>	運動習慣がない者に、運動の機会を提供する					
No.8	男性50代のうつ病患者数が多い	>	精神疾患を抱える者に対し、相談機会を提供する					
No.9	機関誌発行	→	情報発信により健康意識を向上させる					
No.10	医療費通知	→	医療費情報を確実に理解させる					
No.11	糖尿病(2型)の患者が84名	→	糖尿病リスク保有者の生活習慣、健康状態の改善のために保健指導を実施する					

基本的	な考	え方	(任意)
-----	----	----	------

特定健診・特定保健指導の事業計画 【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

特定健診(被保険者)

対応する 健康課題番号 No.1



1 事業名

事業の	事業の概要						
対象	対象事業所:全て,性別:男女,年齢:40~74,対象者分類:被保険者						
方法	-						
体制	事業主と連携する中で、事業主が主体となり受診率100%を維持する。						

事業目標 安衛法に基づく事業主健診と合わせて実施全事業所に対し、健診結果の情報提

供を求める

アウトカム指標 R6年度 R7年度 R8年度 R11年度 R9年度 R10年度 生活習慣リスク保有者率 26 % 25 % 24 % 23 % 22 % 21 % 価 12 % 12 % 11 % 10 % アウトプット指標 R6年度 R7年度 R8年度 R9年度 R10年度 R11年度 100 % 100 % 100 % 情報提供の呼掛け 100 % 100 % 100 % 100 % 特定健診実施率 100 % 100 % 100 % 100 % 100 %

施計画							
R6年度	R7年度	R8年度					
上の被保険者を対象とした特定健診を事業主健診と合	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被保険者を対象とした特定健診を事業主健診と合 わせて実施						
R9年度	R10年度	R11年度					
上の被保険者を対象とした特定健診を事業主健診と合	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被保険者を対象とした特定健診を事業主健診と合 わせて実施						

2 事業名

特定健診(被扶養者・任継者)

対応する 健康課題番号 No.1





事業の概要

対象事業所:全て,性別:男女,年齢:40~74,対象者分類:被扶養者/任 対象 音微性主义 意継続者

方法

体制

事業目標

- ●健診未受診者のパターン分析に基にパターン毎に異なるコンテンツによる検診 勧奨通知を送付し、受診勧奨を促す。
- ●"過去5年未受診者に対して被保険者にメールでの案内を実施する。
- その際、自治体やパート先での健診受診を行っている場合に、健保へデータ送 付をして頂く案内を行う"

評価指標	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	生活習慣リスク保有者率	12 %	12 %	11 %	11 %	10 %	10 %
	内臓脂肪症候群該当者割 合	7 %	7 %	6 %	6 %	5 %	5 %
	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	行動量	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %
	特定健診実施率	67 %	70 %	72 %	73 %	74 %	75 %

宇施計画

R6年度	R7年度	R8年度					
【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被扶養者、任意継続者を対象とした特定健診	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被扶養者、任意継続者を対象とした特定健診	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被扶養者、任意継続者を対象とした特定健診					
R9年度	R10年度	R11年度					
【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被扶養者、任意継続者を対象とした特定健診	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被扶養者、任意継続者を対象とした特定健診	【目的】健康状態の把握・早期治療 【概要】40歳以 上の被扶養者、任意継続者を対象とした特定健診					

3 事業名

特定保健指導

対応する 健康課題番号 No.2



事業の概要

対象 対象事業所:全て,性別:男女,年齢:40~74,対象者分類:被保険者 方法 体制

事業目標

●メタボリックシンドローム減少を目的に、保健指導を実施。生活習慣改善アド バイスを行い行動変容を促す。

/ ۱	「「スと」「リーリー」が行っています。							
評価指	アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
	特定保健指導対象者割合	14 %	13 %	12 %	11 %	10 %	9 %	
	特定保健指導による特定 保健指導対象者の減少率	25 %	25 %	25 %	25 %	25 %	25 %	
	腹囲2cm・体重2kg減 を達成した者の割合	50 %	50 %	50 %	50 %	50 %	50 %	
標	アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	
	指導希望者への保健指導 実施	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	100 %	
	特定保健指導実施率	56 %	57 %	58 %	59 %	60 %	60 %	

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度					
栄養士の指導のもと、生活習慣改善に関する個別目標							
R9年度	R10年度	R11年度					
【目的】メタボ該当者の減少 【概要】保健師・管理 栄養士の指導のもと、生活習慣改善に関する個別目標 を設定した上で指導実施	栄養士の指導のもと、生活習慣改善に関する個別目標	【目的】メタボ該当者の減少 【概要】保健師・管理 栄養士の指導のもと、生活習慣改善に関する個別目標 を設定した上で指導実施					

達成	達成しようとする目標/特定健康診査等の対象者数									
			令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度		
特定	計	全体	2,230 / 2,671 = 83.5 %	2,236 / 2,630 = 85.0 %	2,177 / 2,531 = 86.0 %		2,088 / 2,400 = 87.0 %	2,046 / 2,338 = 87.5 %		
企健康	画 値 ※1	被保険者	2,082 / 2,082 = 100.0 %	2,040 / 2,040 = 100.0 %	1,999 / 1,999 = 100.0 %		1,920 / 1,920 = 100.0 %	1,882 / 1,882 = 100.0 %		
診 査・		被扶養者 ※3	395 / 589 = 67.1 %	413 / 590 = 70.0 %	383 / 532 = 72.0 %	369 / 505 = 73.1 %	355 / 480 = 74.0 %	342 / 456 = 75.0 %		
実	実	全体	-/-=-%	- / - = - %	-/-=-%	-/-=-%	- / - = - %	-/-=-%		
施率	績値	被保険者	-/-=-%	- / - = - %	-/-=-%	-/-=-%	- / - = - %	-/-=-%		
- AP	*1	被扶養者 ※3	-/-=-%	- / - = - %	-/-=-%	-/-=-%	- / - = - %	-/-=-%		
特	計	全体	204 / 363 = 56.2 %	203 / 356 = 57.0 %	203 / 349 = 58.2 %	202 / 342 = 59.1 %	201 / 335 = 60.0 %	197 / 328 = 60.1 %		
定保	画値	動機付け支援	111 / 197 = 56.3 %	110 / 193 = 57.0 %	110 / 189 = 58.2 %	109 / 185 = 58.9 %	109 / 181 = 60.2 %	106 / 177 = 59.9 %		
健	*2	積極的支援	93 / 166 = 56.0 %	93 / 163 = 57.1 %	93 / 160 = 58.1 %	93 / 157 = 59.2 %	92 / 154 = 59.7 %	91 / 151 = 60.3 %		
指導	実	全体	-/-=-%	- / - = - %	- / - = - %	-/-=-%	- / - = - %	- / - = - %		
実	績	動機付け支援	-/-=-%	-/-=-%	-/-=-%	-/-=-%	- / - = - %	- / - = - %		
施率	値 ※2	積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %		

^{*1)} 特定健康診査の (実施者数) / (対象者数) *2) 特定保健指導の (実施者数) / (対象者数) *3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

目標に対する考え方(任意)

被保険者(任意継続被保険者除く)は、事業主側の法定健診をカバーすることで100%の受診率を維持していきたいと考えています。

被扶養者・任意継続者は、健診予約運営を代行業者に委託し、オプション以外の自己負担なしの健康診断を行っている、初回案内のほか、はがきやメールでの受診勧奨を行い受診率のアップと対象者の健康維持増進のバックアップを図っていきたい。

特定健康診査等の実施方法 (任意)

人間ドック(30歳以上の被保険者)の中に、法定健診・特定健診それぞれがカバーされる内容になっており、事業主側の法定健診案内の際に人間ドックでの代替え受診の 案内も合わせて行っている。

人間ドック(30歳以上の被扶養配偶者)の中に特定健診がカバーされる内容になっている。

また、オプション検査以外自己負担無しの健康診断を健診代行業者に委託を行っている。

個人情報の保護

プライバシーポリシー、個人セキュリティを含め、HPにて公開。

基幹システム会社をはじめ、個人情報を取り扱う委託先会社への監査を実施。

健保組合職員へ個人情報保護関連の研修を実施。

上記等実施することにより、個人情報を取り扱うことの重要性を健保組合職員で学んでいる。

特定健康診査等実施計画の公表・周知

- 1. 実施場所
- (1) 特定健康診査_各拠点または対象者最寄りの医療機関
- (2) 特定保健指導 ICT利用
- 2. 実施項目_健康保険組合HP
- 3. 実施時期_健康保険組合HPおよび事業主経由の通知文章
- 4. 委託の有無
- (1)特定健康診査:被保険者および被扶養者 $_$ ウエルネスコミュニケーションズ
- (2) 特定保健指導:被保険者および被扶養者_SOMPOヘルスサポート・RIZAP
- 5. 周知案内方法

被保険者(任意継続除く)__健康保険組合HPおよび事業主経由の通知文章

被扶養配偶者および任意継続被保険者・被扶養者_健康保険組合HPおよび個別はがき送付

6. 健診データの収集方法

被保険者の法定健診_医療機関よりXMLデータまたは紙ベースの健診結果の提供

被保険者・被扶養者の人間ドック_委託会社よりXMLデータの提供

被扶養者・任意継続被保険者被扶養者の健康診断__委託会社よりXMLデータの提供

- 7. 特定保健指導対象者の抽出方法
- ◆6.で収集したデータを基幹システムに取り込み階層化を行う。
- ◆上記で抽出された対象者へ、特定保健指導の案内をする(一部事業主からの強制参加指示あり)
- 8. スケジュール
- ◆法定健診_5月~8月
- ◆人間ドック__4月~翌2月
- ◆被扶養者・任意継続者の健康診断_7月~翌1月

その他(特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等)

4